

# 競 技 注 意 事 項 (小学生)

1. 本競技会は2019年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。
2. ナンバーカードは胸と背に必ず規定の物を糸又は安全ピンで取り付ける。
3. 選手の招集について  
競技開始15分前までに競技者係（受付場所）で自分の名前と所属名を知らせ、ナンバーカードを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバーカードを付ける。なお、バックストレートフィニッシュの場合は、両方の腰に腰ナンバーカードを付ける。  
招集開始時間と終了時間、競技開始時刻はプログラムに書いてあるので、よく見て遅れないようにすること。点呼に遅れると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従い、まとまって競技場所へ移動する。種目が重なっている場合、走る方の種目が優先されるので、そのことを審判員に申し出て指示に従う。
4. プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。
5. レーン、試技順はプログラムの番号順とする。
6. 決勝種目の出場者名は競技者係（受付場所）近くの掲示板に貼り出すのでよく見ること。
7. リレーについてはすべて、決められたレーンを走る。（バトンの受け渡しは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。）オーダーは競技開始時刻の1時間前までに競技者係まで申し出て、オーダー用紙に走る順を記入する。バトンを渡しても他の選手のじゃまにならないようにするため、係の指示があるまで、自分のレーンから出ないこと。
8. ハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、高さ70cm、台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。
9. スパイクシューズ、スタートの仕方、リレーのテイクオーバーゾーンについては要項に記載のとおり。
10. フィールド競技（走高跳、走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投）
  - (1) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候によって変更することもある）  
男子 練習1m05 試技1m10から5cm上げ、1m30以上は3cm上げとする。  
女子 練習95cm 試技1m00から5cm上げ、1m20以上は3cm上げとする。  
※ 背面跳ではなく、はさみ跳でマットへの着地は必ず足裏からとし、背・腹などからの着地は無効とする。
  - (2) 走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投の試技は、それぞれ3回ずつとする。
  - (3) 砲丸は2.721kgのものを使用する。
11. 競技に使う用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。
12. その他
  - (1) 各種目3位までメダルと賞状を授与する。
  - (2) 選手は、表彰の時以外は本部前席前を通らないこと。
  - (3) トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。
  - (4) 主催者は応急処置のみ行います。
  - (5) ゴミ類はすべて持ち帰ること。
  - (6) 全道大会の出場資格を得て、出場を希望する者は必ず大会当日に全道大会受付係に申し出て、必要書類を受け取ること。（リレー以外のトラック種目は4位まで、リレーとフィールド種目は3位までと、全道大会参加標準記録に達した者）なお、全道大会の申し込みは学校・クラブ・個人単位とし、別紙要項記載通りに申し込むこと。（期日厳守）